

| | | |
|----|--|--------------|
| 担当 | 埼玉労働局労働基準部 健康安全課長 主任労働衛生専門官 電話 048-600-6206 | 布施武雄 大鷲 亨 |
|----|--|--------------|

埼玉労働局長が建設現場の安全パトロールを実施します

～ 平成 27 年 9 月 3 日（木）に実施 ～

埼玉労働局（局長 阿部 充）及び管下 8 労働基準監督署は、平成 27 年 9 月 3 日（木）に建設業労働災害防止協会埼玉県支部（支部長 真下恵司、会員数 1,265 社）と連携して、県内建設現場の一斉安全パトロールを実施します。この一環として、阿部局長と真下支部長による合同安全パトロールは、公開として、埼玉県さいたま市中央区新都心の「埼玉県立小児医療センター新築工事」「さいたま赤十字病院新築工事」現場において実施します。

（参考）

- 1 埼玉県内の建設業の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、本日現在、埼玉県内の建設業の死亡者数は 12 人（前年同日の死亡者数 14 人）で、依然高い水準にあります。12 人のうち 4 人が墜落・転落災害です。また、建設業の平成 27 年 8 月 5 日現在の休業 4 日以上死傷者数は 308 人であり、「墜落・転落災害」が最も多く 100 人（32.5%）を占めています。
- 2 このような現状に対し、埼玉労働局では建設業労働災害防止協会埼玉県支部長に対し安全講習会の実施、自主パトロールの実施等「死亡災害防止の要請」を行っています。今回の県下一斉建設現場安全パトロールは、増加している死亡災害及び死傷災害にさらなる歯止めをかけるため、埼玉労働局及び管下 8 労働基準監督署が同協会埼玉県支部と連携して全県下一斉に行うもので、建設業に携わる人々の安全意識の高揚を図るとともに、同協会埼玉県支部が取り組んでいる「三大安全宣言運動 埼玉」（RA-3S 運動）の普及・定着を促進するものです。
- 3 今回、阿部局長と真下支部長による合同安全パトロールを実施する現場は、延床面積合計が 132,863.75 m²（東京ドームの約 2.8 個分）、地上 13 階建（埼玉県立小児医療センター）・地上 14 階建（さいたま赤十字病院）の病院の新築工事で、約 1,000 名が作業に従事しています。
- 4 公開パトロールの予定は別紙のとおりです。是非現地での取材をお願い致します。なお、現地取材を実施する場合には、事前に当局健康安全課（担当大鷲）あてご連絡ください。

※ 埼玉労働局は、平成 25 年度を初年度とする「埼玉第 12 次労働災害防止計画」において、「平成 29 年に平成 24 年と比較して死亡災害を 36 人以下 20%以上減少、死傷災害を 4,803 人以下 15%以上減少させる」ことを目標としたほか、建設業については、重篤な災害が多いことから、特に重点業種として位置づけ、「平成 29 年に平成 24 年と比較して死亡災害を 35%以上減少させる」ことを目標とし、重点的に労働災害防止対策を推進しています。

埼玉労働局・建設業労働災害防止協会埼玉県支部合同公開パトロール実施計画書

1 実施日時 平成 27 年 9 月 3 日（木） 13 時 00 分から 15 時 00 分まで

2 パトロール実施者

| | |
|-------------------|------|
| 埼玉労働局長 | 阿部 充 |
| 建設業労働災害防止協会埼玉県支部長 | 真下恵司 |
| 埼玉労働局労働基準部健康安全課長 | 布施武雄 |

随行

| | |
|--------------------------|------|
| 埼玉労働局労働基準部健康安全課地方産業安全専門官 | 堀川道歳 |
| 建設業労働災害防止協会埼玉県支部事務局長 | 白石茂敏 |
| 建設業労働災害防止協会埼玉県支部主任 | 大野友裕 |

3 工事概要

(1) 埼玉県立小児医療センター新築工事

施工場所 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番 2（リーフレット参照）

現場事務所電話番号 048-631-3311

建築主 埼玉県

設計監理 株式会社 久米設計

施工 清水建設株式会社

建設用途 病院

構造規模 鉄骨造・鉄筋コンクリート造 地上 13 階・地下 1 階

敷地面積 10,031.17 m²

建築面積 8,111.13 m²

延床面積 65,411.32 m²

高さ 最高高さ 64.28 m

工期 平成 26 年 2 月～平成 28 年 7 月

(2) さいたま赤十字病院新築工事

施工場所 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番 5（リーフレット参照）

現場事務所電話番号 048-859-8885

建築主 日本赤十字社

設計監理 株式会社 日建設計

施工 株式会社 大成・田中特定建設工事共同事業体

建設用途 病院

構造規模 鉄骨造（一部コンクリート造） 地上 14 階・地下 2 階

敷地面積 14,001.33 m²
建築面積 8,877.53 m²
延床面積 67,452.43 m²
高 さ 最高高さ 78.48 m
工 期 平成 26 年 2 月～平成 28 年 8 月

4 パトロール対応者

| | | |
|-----------|---------------|-------|
| 清水建設 株式会社 | (現場) 統括工事長 | 前田春紀 |
| | (現場) 工事長 | 長谷川 洋 |
| | (関東支店) 安全環境部長 | 高橋裕司 |
| 株式会社 大成建設 | (現場) 作業所長 | 岡崎秀樹 |
| | (現場) 副所長 | 和泉良幸 |
| | (関東支店) 安全環境部長 | 松本 啓 |

5 スケジュール概要

13:00 までに現地会議室に集合、名刺交換、移動 (10 分)

13:10 から現場作業員全員に対し、(訓話 20 分)

①施工者挨拶 清水建設統括工事長 (5 分)

②訓話 埼玉労働局長 (10 分)

③施工者安全唱和 大成・田中 JV 作業所長 (5 分)

13:30 から現場パトロール実施 (パトロール 50 分)

14:20 から会議室において (講評 40 分)

①参加者紹介 施工者側・労働局側・建災防側 (5 分)

②挨拶 埼玉労働局長 (5 分)

③挨拶 建災防埼玉支部長 (5 分)

④現場説明等 清水建設統括工事長、大成・田中 JV 作業所長 (15 分)

⑤現場パトロール講評 (健康安全課長) 及び回答 (統括工事長・作業所長)
(10 分)

(15 時 00 分終了予定)



(北与野駅方向からのイメージ)

さいたま新都心から
小児医療の新時代

安心の光を灯す
赤十字

子どもから大人まで高度な医療を
提供する安心安全の拠点

埼玉県立
小児医療センター さいたま赤十字病院



新病院への
アクセス



(さいたま新都心駅周辺交通簡略図)
JRさいたま新都心駅から徒歩約5分

お問合せ

埼玉県立小児医療センター

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-13-3
埼玉県病院局小児医療センター建設課 TEL 048(830)5989

さいたま赤十字病院

〒338-8553 埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-33
さいたま赤十字病院事務部企画課 TEL 048(852)1593



(さいたま新都心駅方向からのイメージ)

こどもたちの未来は私たちの未来
 ~For the future, for the children~

埼玉県立 小児医療センター新病院

概要

1 埼玉県立小児医療センターの移転経緯

昭和58年4月開院以来30年余りが経過し、建物の耐震化を図るとともにこの間の医療の進歩や患者の動向などを踏まえ、新病院を建設することにしました。

- 平成24年3月 埼玉県立小児医療センター施設整備基本計画
- 平成24年7月～平成26年3月 基本設計・実施設計【(株)久米設計】
- 平成26年2月～平成28年3月 建設工事【清水建設(株)】

2 埼玉県立小児医療センター新病院の建物概要

| | | | |
|------|----------------|------|---------------------|
| 建設場所 | さいたま市中央区新都心1-2 | 最高高さ | 64.28m |
| 敷地面積 | 10,031.17㎡ | 構造 | 鉄骨造・鉄筋コンクリート造(免震構造) |
| 建築面積 | 8,189.16㎡ | 延床面積 | 67,885.39㎡(付加機能を含む) |
| 階数 | 地下2階/地上13階 | 駐車台数 | 337台 |
| | | 病床数 | 316床 |

3 埼玉県立小児医療センター新病院の特徴

① 高度専門医療の提供

- 総合周産期母子医療センター機能の整備
 - 新生児集中治療室(NICU)の増床(15床→30床)
 - 新生児治療回復室(GCU)の増床(27床→48床)
- 小児救命救急機能の向上
 - 小児集中治療室(PICU)の新設(14床)



総合周産期医療イメージ

② 快適な療養環境づくり

- ゆとりある個室病床の整備(80床)
- 病院内に家族滞在施設(ドナルド・マクドナルド・ハウス誘致予定)を7部屋設置
- 広い乗降スペースを確保した機械式駐車場の設置

③ 最新医療への対応

- 内視鏡手術室の増設
- ハイブリッド手術室の新設
- 小児がん拠点病院に対応した無菌室の増床等



ハイブリッド手術室イメージ

④ 付加機能との一体的な連携

- 発達障害支援総合推進センター(仮称)(3階)^{※1}
- 災害時被災者支援機能(3階)^{※2}
- 特別支援学校(7階)
- 総合医局機構^{※3}、県立大学サテライトキャンパス、救急救命士養成所(8階)

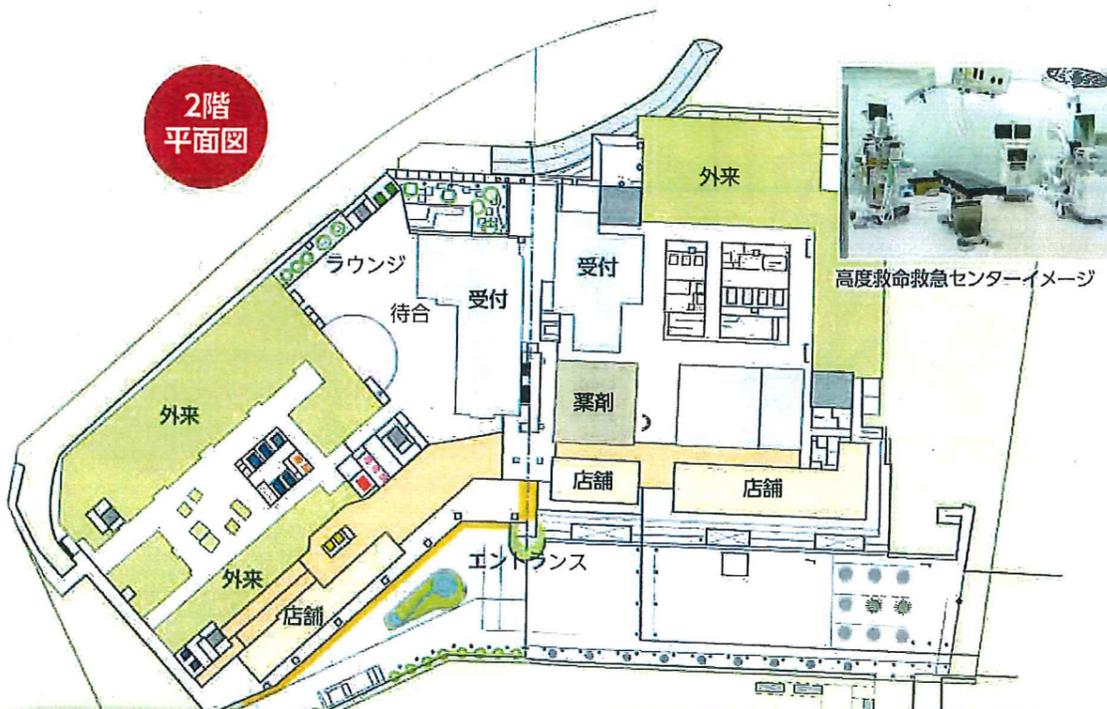
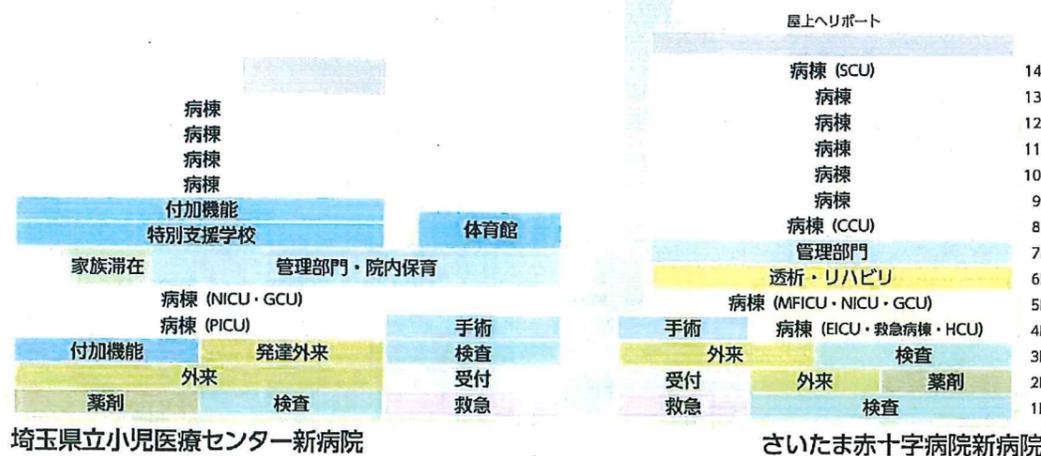
※1 埼玉県立小児医療センター新病院の発達外来部門と連携して、市町村、医療・療育専門職員への研修や親支援などを実施する発達障害児支援の拠点施設

※2 周辺地域での大規模災害発生時に被災者支援のため、情報収集、関係機関との連絡調整を行う

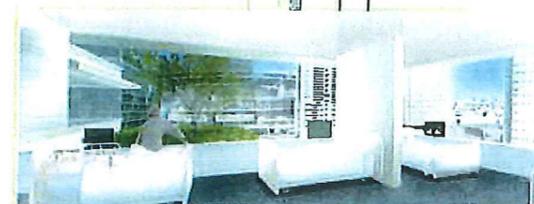
※3 医師の確保や医師不足病院への派遣、キャリア形成の支援などを総合的に行う



緑化やエコ対策にも配慮したまちづくりとの調和



機械式駐車場イメージ



緑化バルコニーに面する新型4床病室イメージ

信頼される医療をすべての人に
 ~Reliable medical care for everyone~

さいたま赤十字病院新病院

概要

1 さいたま赤十字病院の移転経緯

さいたま赤十字病院は、施設の老朽化と狭隘化を解消し、高度医療の進歩と多様化する医療ニーズに的確に対応するため、新病院を建設することにしました。

- 平成23年8月 さいたま赤十字病院新病院基本計画
- 平成23年12月～平成25年11月 基本設計・実施設計【(株)日建設計】
- 平成26年2月～平成28年3月 建設工事【大成・田中特定建設工事共同事業体】

2 さいたま赤十字病院新病院の建物概要

| | | | |
|------|------------------|------|-----------------------|
| 建設場所 | さいたま市中央区新都心1-5ほか | 最高高さ | 78.48m |
| 敷地面積 | 14,001.33㎡ | 構造 | 鉄骨造(免震構造)、一部鉄筋コンクリート造 |
| 建築面積 | 8,877.53㎡ | 延床面積 | 67,452.43㎡ |
| 階数 | 地下2階/地上14階 | 駐車台数 | 311台 |
| | | 病床数 | 632床 |

3 さいたま赤十字病院新病院の特徴

① 高度専門医療の提供

- 総合周産期母子医療センター機能の整備
 - 母体・胎児集中治療室(MFICU)の新設(9床)
- 高度救命救急体制の充実
 - 救命救急ICU(EICU)と救急病棟の増床(EICU6床→8床、救急病棟32床→36床)
 - ハイケアユニット(HCU)と脳卒中ケアユニット(SCU)の新設(HCU8床、SCU6床)

② がん診療の充実

- 最新の放射線治療装置(リニアック等)や画像診断装置(PET-CT等)を導入し、身体に負担が少なくかつ効率的な治療を実施
- 外来化学療法室の拡充(12床→30床)
- がん相談機能の充実を図るため、がんサロンを整備

③ 災害医療への対応

- 屋上ヘリポートの設置
- ペDESTリアンデッキに災害時のトリアージや治療スペースの確保
- 非常時にも対応できる十分な資材備蓄・電源確保

④ 快適な療養環境づくり(ゆとりと拡張性の高い療養環境)

- 個室が多い病床構成(126床→302床)
- ベッドサイド医療のためのゆとりある新型4床室
- 全てのベッドサイドに窓を設置し、採光や緑の眺望を確保